

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員20名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「銀河」を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止につきましてご協力いただきますよう、よろしくをお願いします。

テーマ番組「銀河」2月16日から投影中

2月16日から投影している、オリジナル番組「銀河」。銀河は宇宙にたくさんある天体ですが、どんな天体なのか、一般的に広く知られていないかもしれません。さじアストロパークが誇る103cm大型望遠鏡(キラット望遠鏡)で撮影した銀河の画像などを使って、銀河や宇宙の姿について紹介します。



音楽：Yuta Itani

2015年、湯川れい子氏が審査員長の「第12回ゴールドコンサート」で、グランプリを受賞！以降、国内外で活動の幅を拡げ続けている、鳥取県出身のサウンドクリエイター。

<https://www.yutaitani.com/>



ナレーション：ノグチ アツシ

山陰を拠点にナレーターやミュージシャンとして活動中。

また別名「安来のおじ」としてもエフエム山陰のラジオパーソナリティやCM出演でお馴染み。二つの顔を使い分け、多方面で活躍中。

2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

定員20名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を20名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくをお願いします。個人の方（お一人からご予約できます）はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



4月の注目天体情報

☆見ごろの星座：冬の星座→春の星座

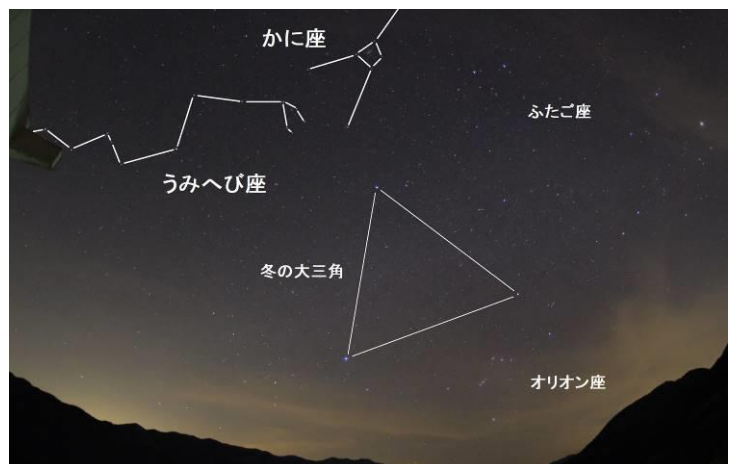
あまりなじみがなく明るい星が少ない春の星座は、よく目立つ冬の星座からたどると見つけやすいです。誕生星座にも登場する「かに座」や、88個ある星座の中で一番大きくて長～い星座「うみへび座」を、冬の星座が見えているうちに見つけておきましょう。

☆春の星たち

観察会に、春の天体が見られるようになりました。淡くぼんやりとした銀河も、103cm大型望遠鏡で観察するといろいろな形がわかります。

☆テレビ観望システム

4月から10月までは毎週金・土の観察会で運用します。103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。このシステムは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)を活用して整備されました。



しし座の銀河たち